

# 野ばら 6月号

## よく生きることを学ぶ



校長 夏見隆晴

日々の教育活動の中で考えることは、生徒たちは何を学んでわたしたちの学園を巣立って行くのだろうかということです。もちろん学校生活の中心には、教科教育があることは十分に理解しているつもりです。でもそれだけなら、カトリック学校であることが誰にでもわかるような校名を持つ本校としては、十分な教育を提供しているとは言えないのではないかと、というのがわたし自身の考えていることであります。

まずわたしたち人間は、「共に生きる存在」であるということを実感しておきたいものです。人々と共に生きていくなかで注意すべきことは、他者に対して迷惑をかけないということです。「他人に迷惑をかけない」などというのは、あまりにも消極的でキリスト教の教える「人を愛しなさい」という掟とは、ずいぶん隔たりがあるのではないかとと思われるかもしれません。でもまずは個の確立が十分になされていなければ、他を愛するなどということは不可能です。そこで第一に「他者のために」の一言を伝えたいのです。

わたしたち親は普通、「人様に迷惑をかけないようにしなさい」と教えて子育てをします。けれども今の時代は、この教えもその内容をもっと具体的に教えていかなければ、子どもたちにとって十分な指針とはならないのではないかと考えさせられます。今の日本社会は、まだ豊かさを他国に比べれば維持しております。豊かな社会であることは、もちろん良いことであります。しかし、わたしたち大人はその豊かさをいかにして作り出すかを、次世代の子どもたちに、本気になって伝えてきたと言えるでしょうか。

わたしたちの学校でも、社会の中で弱くされた人たちのために力となりましょうと言って募金活動もいたします。キリスト教の教える「他者への愛」のためです。でもこうした行為が、生徒たちの場合どれだけの犠牲を払っての行為なのかという疑問です。少しでも自分の痛みを感じたうえでの献金であったのでしょうか。自分を貧しくしてでも、困っている人たちのために差し出すという精神が無ければ、イエス・キリストの精神を理解しているとは言えないのです。このような意味での人間作りこそが、わたしたちの学校に課せられた教育でなければならないと考えています。

もう一点、わたしたちの校名のカトリックとは「普遍的」という意味ですが、本校で教育を受けたものは、世界に通用する人間にならないといけな思っております。世界的な視野で物事を考えられる人間になること、このことは言葉では簡単に言えますが、いざ実行するとなると大変に難しいことです。諸外国の言葉が自由に操れるというだけでは、国際人とは言えません。根底となるのは人間を人間として尊敬できるという心の持ち主になる、このことを理解したうえでの努力こそ真の人作り教育であると、わたしは考えます。



## 「ため」

宗教・社会・情報 金井哲也

私はコンピュータの授業も担当しているためか、よくツイッターやフェイスブック、現在ではラインのようなものを使っているだろうと思われることがあります。しかし実はあまり好きになれず、残念なことに一度も使ったことがありません。単に面倒くさがりなだけとか、自己主張力が弱いとか、そもそも友達いないだろうとか辛辣な意見も聞こえてきそうですが、もうすこし救いのある理由を考えてみました。

自分がそうした情報伝達ツールに違和感を感じているのは、その場その場で文章を述べなければならないというスピード感です。もちろんニュースやお知らせなどの「情報」では即時性が大切です。役に立った事例もたくさんあります。でもそれなら音声でやればいいのに、と古い世代は思ってしまうのですが、これはもしかしたら私の理解不足かもしれません。ただこうしたツール上でいろいろ社会問題が論じられることも多くなっているのは確かで、さらに思考を公表するということは、道筋の残る緻密な議論と相性が良いのも明らかです。でもそうした使われ方をされている場合、短い反射的な応答は荒れる原因にはなっても内容が深まる方には働かないと思うのですが、実際のところどうなのでしょう。それとも短い反射的な応答の方が、本音がでた面白い議論になるのでしょうか。

私の最も記憶に残っている絵は、カラバッチョという画家の「聖マタイの召命」という作品です。薄暗い博打場の中、右端からイエスがマタイを指さし「私の弟子になりなさい」と毅然とした態度で声をかけます。博打仲間達はびっくりして「こいつ何だ？」という目でイエスを見つめ、「えっ、こいつが？」という態度でマタイを指さします。博打打ちの全員がイエスに注目する中、一人だけイエスから目をそらしている人物がいます。マタイ自身です。



イエスに目を向けていないマタイはイエスに気づいていないのでしょうか。もちろん真逆で、彼は心の中でイエスの言葉と全力で闘っています。うつむいたうなじは脱力の結果でないことは、強ばった口元のみみ具合からわかります。

しかし彼のうつむきは、イエスから逃げるためでの反抗ではありません。自分を捨て、イエスに従うための、むしろ自分自身との闘いです。この沈黙の長さや葛藤の深さ、すなわち「ため」が後のエネルギーとなり、後にマタイ福音書の執筆にまでつながっていきます。さらに沈黙期間の長かった、すなわち「ため」の大きかったヨハネは（ヨハネ福音書はマタイ福音書より後に書かれてい

る)、比類なく深遠なヨハネ福音書を書きました。熟成のためには、それなりの時間が必要なものです。

世の中全体のスピード感が増し、それに比例して文化や言論が軽くなっていく中、科学技術のもたらしてくれる手軽さや素早さの恩恵は認めつつも、それらとは換えることのできない味わいや深みというものもあるのだということを、授業や学校活動の中で伝えられたらと願っています。

## 協力願ひ

混雑を避けるため、幼稚園、小学校、中学高等学校でそれぞれ送迎場所を分けており、中学高等学校の登下校の際の送迎場所を正門側の道路としておりますが、安全確保と地域住民等へご迷惑をお掛けしないためにも次のことにご協力ください。

- ・車の乗り降りは正門側の道路（門の前は避ける）にて短時間で行ってください。（正門側の道路での停車《人などが乗り降りするための一時的な停止》は違法ではないが、駐車《継続的な停止》は違法：道路交通法）
- ・門の前での停車は学園として禁止していますのでご協力下さい。
- ・送迎時のUターンは危険ですので禁止しています。ご協力下さい。
- ・その他、事故がないように交通ルールを厳守してください。

※お迎えの際も教会・幼稚園駐車場ではなく、正門側の道路（門の前を避ける）をご利用ください。不測の事態の際、対応が遅れたり、冬はとても暗く安全面の確保が難しくなります。また、できるだけ午後6時半までにはお迎えいただくよう宜しくお願いします。

4月25日退任

国語科 武内 篤司

## 6月の予定



日・曜日	行事計画
1日(土)	総合学力模試①(高3希望者) 高校総体5月31(金)~5日(水)
5日(水)	小6・高2交流会
7日(金)	中頭地区中学総体 ~9日(日)
8日(土)	総合英検(高2、3全員受検:放課後)
12日(水)	※完全下校16:30
14日(金)	PUP④(7校時のLHR) 漢検(放課後)
15日(土)	平和ミサ 平和学習② 保護者会AED講習会(中1)
17日(月)	教育実習生受入 (~7/5)
22日(土)	平和学習③(高校のみ) ※中学は家庭学習日
23日(日)	慰霊の日 平和学習③(中学のみ) ※高校は休み
24日(月)	振替休日
29日(土)	総合(中) 総合学力記述②(高3) 総合学力記述③(高1・2) 書写検定(放課後)

## 平和祈願ミサのご案内



6月15日(土)、8時30分より、真栄原カトリック教会にて平和祈願ミサに与ります。  
特に保護者の皆様宛てに通知文や出欠表は配布しておりませんが、参加を希望される保護者の方は、お子様を通して学級担任に一言お知らせください。

駐車場は教会駐車場を予定しています。もし変更の場合には、当日、立て看板か教員の誘導によりご案内いたします。

## 新期役員・委員のご紹介

去る5月11日(土)に保護者会新旧役員交流会が開催され、色々な仕事の引継がおこなわれました。旧役員・委員の皆様ありがとうございました。また、新役員・委員の皆さんこれから宜しくお願いします。

### 【役員】

会長	伊佐 浩さん(高1)	
副会長	仲本弘子さん(中2、高3)	仲本博重さん(中3)
会計	山城あや子さん(中1、高1、高3)	謝花由美子さん(中1、中3)
書記	玉城リサさん(高1)	赤嶺須賀子さん(高3)
監事	宮城孝守さん(高1)	中田美奈子さん(高3)

### 【学級委員】

中 1	新垣小百合さん	平良澄雅子さん	松田貴子さん	宮城とし子さん
中 2	砂川順子さん	大城利奈さん		
中 3	島袋順子さん	砂川有紀さん	浜比嘉美保さん	
高 1	大山真理さん	安里サユリさん	朝永玲子さん	池原康代さん
高 2	赤嶺容子さん	田盛寿美子さん	知念洋子さん	村口 恵さん
高 3	宮里敦子さん	石嶺直美さん	中田美奈子さん	

### 【広報委員】

中 1	大城尚子さん	儀間さおりさん	祝嶺美枝子さん	富川留美さん
	外間匡美さん	外間真紀子さん		
中 2	ウィンフィールドひろみさん	内間りつ子さん		
中 3	道田睦美さん	ロセッティ由架さん		
高 1	久高恵美さん	宮里政美さん	出口まどかさん	宮城りえ子さん
高 2	大城晃子さん(委員長)	大石寿美さん	二俣美恵さん	玉城チヨさん
高 3	新川博子さん			

## 派遣費補助ありがとうございます！

中体連、中文連、高体連、高文連主催の大会やコンクールで県3位以上の成績を収め、沖縄県の代表として県外に派遣される場合、保護者会と学校より交通費及び宿泊費の一部を補助していただいております。今年度も地区中学総体や県高校総体が間もなく開催されますが、それぞれの力を十分発揮し、少しでも多くの代表権を勝ち獲てくれるよう期待します。

保護者の皆様方も応援の程、宜しくお願いします。